

2022年度(2023年3月期) 中間決算の概要

2022年11月11日



大光銀行

目 次

I. 2022年度(2023年3月期)中間決算の概要	
1. 損益状況	
(1) コア業務純益・実質業務純益	1
(2) 経常利益	2
(3) 中間純利益	3
2. 業務計数	
(1) 貸出金	4
(2) 預金等・預り資産	5
3. 金融再生法開示債権及びリスク管理債権	6
4. 自己資本比率	7
II. 2022年度(2023年3月期)業績予想	8

※本資料の前年同期比・増減率欄等の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。

1. 2022年度(2023年3月期)中間決算の概要

1. 損益状況

(1)コア業務純益・実質業務純益

- コア業務純益は、前年同期比24億44百万円増加し、43億20百万円。
投資信託解約損益の増加により資金利益が増加したほか、経費の減少や役務取引等利益の増加などにより、前年同期比で増益となった。
- コア業務純益(除く投資信託解約損益)は、前年同期比3億33百万円増加し、20億43百万円。
- 実質業務純益は、前年同期比47百万円減少し、17億30百万円。

(単位:百万円)

項目	2022年9月期 (A)	2021年9月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
コア業務純益	4,320	1,876	2,444
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	2,043	1,710	333
実質業務純益	1,730	1,777	△47

コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券関係損益
 実質業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額
 = コア業務純益 + 国債等債券関係損益

【コア業務純益の変動要因】

○主な増益要因

項目	2022年9月期 (A)	2021年9月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
資金利益	9,555	7,481	2,074
経費	5,789	6,114	△325
うち人件費	3,309	3,384	△75
うち物件費	2,151	2,356	△205
役務取引等利益	540	505	35

<参考>資金利益の変動内訳

(単位:百万円)

項目	2022年9月期 (A)	2021年9月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
資金利益 ① (②+⑤+⑦)	9,555	7,481	2,074
預貸差利益 ② (③-④)	5,479	5,505	△26
貸出金利息 ③	5,572	5,631	△59
預金等利息(※) ④	93	126	△33
有価証券利息配当金 ⑤	3,957	1,900	2,057
うち投資信託解約損益 ⑥	2,276	166	2,110
その他 ⑦	119	76	43
【参考】資金利益(除く投資信託解約損益) ①-⑥	7,278	7,315	△37

(※) 預金等利息 = 預金利息 + 譲渡性預金利息

(2) 経常利益

○経常利益は、前年同期比2億10百万円減少し、17億26百万円。

コア業務純益が増加し、実質与信関係費用は減少したものの、有価証券関係損益を主な減益要因として、前年同期比で減益となった。

(単位：百万円)

項目	2022年9月期 (A)	2021年9月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
経常利益	1,726	1,936	△ 210

○主な増益要因

(単位：百万円)

項目	2022年9月期 (A)	2021年9月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
コア業務純益	4,320	1,876	2,444
実質与信関係費用	△ 90	31	△ 121

<参考1> 実質与信関係費用の変動内訳

(単位：百万円)

項目	2022年9月期 (A)	2021年9月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
実質与信関係費用(①+②-③-④-⑤)	△ 90	31	△ 121
①一般貸倒引当金繰入額	—	△ 81	81
②不良債権処理額	56	163	△ 107
うち個別貸倒引当金繰入額	—	148	△ 148
うち貸出金償却	45	—	45
うち偶発損失引当金繰入額	9	15	△ 6
③貸倒引当金戻入益(△)	109	—	109
④偶発損失引当金戻入益(△)	—	—	—
⑤償却債権取立益(△)	38	51	△ 13

○主な減益要因

(単位：百万円)

項目	2022年9月期 (A)	2021年9月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
有価証券関係損益(①+②)	△ 2,805	△ 37	△ 2,768

<参考2> 有価証券関係損益の変動内訳

(単位：百万円)

項目	2022年9月期 (A)	2021年9月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
有価証券関係損益(①+②)	△ 2,805	△ 37	△ 2,768
①国債等債券関係損益	△ 2,590	△ 99	△ 2,491
②株式等関係損益(△)	△ 215	62	△ 277

【参考】

投資信託解約損益(③)	2,276	166	2,110
①+②+③	△ 528	129	△ 657

(3) 中間純利益

○中間純利益は、前年同期比4億4百万円減少し、9億47百万円。

【2022年9月期の損益状況（単体）】

項 目	(単位：百万円)		
	2022年9月期 (A)	2021年9月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
業務粗利益	7,519	7,892	△ 373
コア業務粗利益	10,110	7,991	2,119
コア業務粗利益（除く投資信託解約損益）	7,833	7,824	9
経費	5,789	6,114	△ 325
実質業務純益	1,730	1,777	△ 47
コア業務純益	4,320	1,876	2,444
コア業務純益（除く投資信託解約損益）	2,043	1,710	333
業務純益	1,730	1,858	△ 128
経常利益	1,726	1,936	△ 210
(経常収益)	11,907	10,547	1,360
(経常費用)	10,180	8,610	1,570
特別損益	△ 355	△ 18	△ 337
税引前中間純利益	1,370	1,918	△ 548
税金費用	423	566	△ 143
中間純利益	947	1,351	△ 404

コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券関係損益

コア業務純益＝業務純益－国債等債券関係損益＋一般貸倒引当金繰入額
＝コア業務粗利益－経費

2. 業務計数

(1) 貸出金

○貸出金残高は、前年同期比361億円(3.3%)増加し、1兆1,067億円。
中小企業向け貸出が増加したほか、住宅ローンの増加により個人向け貸出も増加した。

(単位：億円)

項目	2022年9月末 (A)	2021年9月末 (B)	前年同期比 (C) (A) - (B)	増減率 (C) / (B)
貸出金残高	11,067	10,706	361	3.3 %
うち中小企業向け貸出	4,889	4,846	43	0.8 %
うち個人向け貸出 (消費者ローン)	3,505	3,358	147	4.3 %
うち住宅ローン	3,298	3,147	151	4.7 %
地公体向け貸出	1,326	1,356	△ 30	△ 2.2 %

(2) 預金等・預り資産

○預金等残高は、前年同期比102億円(0.6%)減少し、1兆4,627億円。

個人預金は増加したが、公金預金などが減少した。

○預り資産残高は、前年同期比38億円(2.6%)増加し、1,486億円。

マネーアドバイザーを中心に、お客さまの資産運用ニーズに積極的にお応えし、投資信託、生命保険ともに増加した。

(単位：億円)

項目	2022年9月末 (A)	2021年9月末 (B)	前年同期比 (C) (A) - (B)	増減率 (C) / (B)
預金等残高(※)	14,627	14,729	△ 102	△ 0.6 %
うち個人	10,144	10,097	47	0.4 %
うち法人	3,699	3,710	△ 11	△ 0.2 %
うち公金	743	878	△ 135	△ 15.3 %

(※) 預金等残高 = 預金残高 + 譲渡性預金残高

(単位：億円)

項目	2022年9月末 (A)	2021年9月末 (B)	前年同期比 (C) (A) - (B)	増減率 (C) / (B)
預り資産残高	1,486	1,448	38	2.6 %
投資信託	508	479	29	6.0 %
公共債	101	118	△ 17	△ 14.4 %
生命保険	876	851	25	2.9 %

3. 金融再生法開示債権及びリスク管理債権

○不良債権額は、前年同期比62億円増加し、267億円。

新型コロナウイルス感染症の影響の長期化や、原材料・エネルギー価格の高騰などの影響により、危険債権が増加した。

○不良債権比率は、前年同期比0.49ポイント上昇し、2.38%。

(単位：億円)

項目	2022年9月末	2022年3月末比		2022年3月末	2021年9月末
		2022年3月末比	2021年9月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	29	△ 1	0	30	29
破綻先債権	3	△ 2	△ 1	5	4
実質破綻先債権	25	1	0	24	25
危険債権	235	25	62	210	173
要管理債権	2	0	0	2	2
小計 (A)	267	24	62	243	205
正常債権	10,971	197	312	10,774	10,659
債権額合計 (B)	11,239	221	374	11,018	10,865
不良債権比率 (A)/(B)	2.38 %	0.17 <small>ポイント</small>	0.49 <small>ポイント</small>	2.21 %	1.89 %

4. 自己資本比率

○自己資本比率は、単体が前年同期比0.20ポイント低下し、8.83%、
連結が前年同期比0.19ポイント低下し、8.87%。

自己資本額(分子)は、利益の積上げなどにより増加した。

リスク・アセット(分母)は、積極的な営業推進による貸出金の増加などにより増加した。

○単体・連結のいずれも規制値(4%)を大きく上回っており、十分な水準。

(単位：億円)

項 目		2022年9月末	2022年3月末比		2022年3月末	2021年9月末
			2022年3月末比	2021年9月末比		
単 体	自己資本比率	8.83 %	△ 0.17 ポイ ント	△ 0.20 ポイ ント	9.00 %	9.03 %
	自己資本額	725	2	1	723	724
	リスク・アセット	8,218	183	193	8,035	8,025
連 結	自己資本比率	8.87 %	△ 0.17 ポイ ント	△ 0.19 ポイ ント	9.04 %	9.06 %
	自己資本額	730	2	1	728	729
	リスク・アセット	8,239	182	192	8,057	8,047

Ⅱ. 2022年度(2023年3月期)業績予想

(単位：百万円)

項 目	通期 (2023年3月期)	
	連 結	う ち 単 体
経 常 収 益	22,040	21,680
経 常 利 益	2,760	2,690
当 期 純 利 益	1,440	1,430

※連結の当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益であります。

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。